

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
加須市	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

令和6年3月末現在の当市の公共下水道加入率は83.52パーセント(件数ベース)であり、まだまだ加入促進を強化していかなければならない状況にある。

さらに、当市には現在整備を進めている事業区域があり、処理区域内人口が漸増していることから水洗化率の向上に努めることで下水道使用料収入の増収が見込めるため。

一方、人口減少の進行と老朽施設の更新需要の高まりが顕在化しており、第3次経営戦略(R5～R14)において、農業集落排水処理施設との汚水処理の広域化・共同化について検討していくことを明記している。